

提案書評価要領

評価項目	評価の着目点		配点	評価	評価点
予定技術者の資格及び経験 (30点)	管理技術者	技術者が有する技術者資格	5		
		平成23年度以降の同種又は類似業務の実績の内容	10		
	担当技術者	技術者が有する技術者資格	5		
		平成23年度以降の同種又は類似業務の実績の内容	10		
業務実施方針等 (45点)	仕様書等の理解度		10		
	実施方針・手法の妥当性		10		
	工程計画の妥当性		10		
	技術者の配置計画の妥当性		5		
	地域特性・近年の災害被害の反映		10		
独自提案 (5点)	独自提案		5		
参考見積と技術提案内容との関係 (5点)	参考見積に対する技術提案内容の高度さ※1		5		
	評価点の合計結果				

(評価方法)

- 1 経済性以外の各評価項目についてA、B、Cの3段階評価を行うこととする。
 - 2 各段階評価の配点を次のとおりとする。
配点が10点の場合：A＝10点、B＝6点、C＝0点
配点が5点の場合：A＝5点、B＝3点、C＝0点
- ※1 評価方法は次のとおり。
見積金額を基に、次の算定式で判断する。
配点×(提案者中の最低見積金額) / (当提案者見積金額)
※小数点以下を四捨五入

(特定方法)

- 1 C評価のある者は、特定しない。
- 2 評価点の最も高いものを特定する。
- 3 評価点の最も高いものが同点の場合は、審査員の多数決により特定する。
なお、同数の場合は、審査員長の判断により特定する。

評価項目	評価の着目点	評価		
		A	B	C
1 技術職員の資格及び経験	(1) 管理技術者 技術者が有する技術者資格	プロポーザル説明書に示した部門の技術士資格を有する	プロポーザル説明書に示した部門のRCCMを有する	
	平成23年度以降に同種又は類似業務の実績の内容	プロポーザル説明書に示したa・bともに同種業務の実績がある	左右に該当しない	実績がない
	(2) 担当技術者 技術者が有する技術者資格	プロポーザル説明書に示した部門の技術士又はRCCMを有する	左に該当しない	
	平成23年度以降に同種又は類似業務の実績の内容	プロポーザル説明書に示したa・bともに実績がある*	左右に該当しない	実績がない
2 業務実施方針及び手法	(1) 仕様書等の理解度	的確に理解している	左右に該当しない	業務内容をよく理解していない
	(2) 実施方針・手法の妥当性	特に優れている	左右に該当しない	妥当でない
	(3) 工程計画の妥当性	十分検討されており高く評価できる	左右に該当しない	業務実施手法と矛盾が見られるなど、十分検討されていない
	(4) 技術者の配置計画の妥当性		右に該当しない	工程計画との整合が不十分など、必要と考えられる検討項目に十分な技術者が配置されていない
	(5) 地域特性・近年の災害被害の反映	特に優れている	左右に該当しない	反映していない
3 独自提案	独自提案	特に優れた提案がある	左に該当しない	

4 参考見積と 技術提案内容 との関係	参考見積に対する技術 提案内容の高度さ	見積金額を基に、次の算定式で判断する。 配点×（提案者中の最低見積金額） / （当 提案者見積金額） ※小数点以下を四捨五入
---------------------------	------------------------	---

※複数の担当技術者により、a・bの分野の実績が認められれば、Aと評価する。